



青垣なす戸隠山 写真提供：曾根原 忠



「あをがき」創刊によせて

戸隠を訪れて下さる方々の層も、時代の推移と共に大きく変わって参りました。戦前は戸隠神社参拝を目的とした、全国各地にある戸隠講中の方が主で、殆どの方が徒歩でおいでになりました。

昭和三十年代後半に長野市街地より有料道路が開通し、時期を同じくして戸隠にスキー場も開設されてから、全国的スキーブームも有り高度成長期の波にも乗れ、夏季・冬季を通して戸隠の観光のお客様は、飛躍的に増加しました。戸隠神社を支えて下さる根幹は各地の戸隠講中であり、講員で在ります事は昔も今も変わりありませんが、近年は講員以外の方、特に若い方の参拝が大変増えております。鳥居に入る時・出る時きちんと一礼し、手水舎にて作法通り身を清め、拝殿で静かに祈りを捧げておられる姿は誠に美しく感銘を受けます。

戸隠神社では、平成二年より毎年一月早々戸隠神社報を発行し、各地の講中の御世話人様を通じて講員の皆様にお配りし、御覧頂いておりますが、年一回の発行であり対象が講中の皆様に限定されがちで、紙面も神社に関する事、信仰に関する事が大部分でありました。

戸隠は自然の宝庫であり、春には大きな望遠レンズを装着した三脚を肩に担いだ野鳥観察の方も大勢おいでになります。

名物戸隠蕎麦を賞味することを目的にしてお越しになり、戸隠神社にも参拝して下さる方も沢山おられます。

春夏秋冬、戸隠を楽しむ為に戸隠を訪れて下さる皆様に、戸隠の情報をなるべく多くお届けすることを目的として此度、戸隠神社広報紙「あをがき」を発刊することとなりました。

漢字では青垣と書きますが、青垣山の略語であり、山・なだらかな山、こんもりした山ではなく、切り立った山・険しい山が垣根のように連なっている様子を言い表すのに用いられます。

戸隠神社奥社の背後に聳える戸隠山は、戸隠連峰とも言われ、切り立った険しい岩山で、正に垣根のように、屏風の如く連なっており、文字通り青垣山と言えます。神職が戸隠神社で奏上する祝詞には、しばしば「青垣成す戸隠山の麓に鎮まります戸隠神社の大前に…」と用いられます。

親しみ易い紙面を第一にして参りますので、何卒お気軽にご覧下さいますよう、お願い申し上げます。

歴史への誘い

平成二十三年、中社・社殿脇に開館した青龍殿宝物館では、国の重要文化財「牙笏」、同「紙本墨書法華経残闕」を始め多くの宝物や史資料を展示してまいりました。当館では、戸隠へのご理解をより深めていただくため、毎年テーマを変えて、特別展示コーナーで企画展を催しておりますので、この機会には是非お立ち寄り下さい。

宝物館企画展 別当の決断

別当とは、明治維新以前、戸隠が天台寺院だった頃、比叡山または東叡山寛永寺(東京上野)から派遣された宗教行政上の指導者のことをいいます。



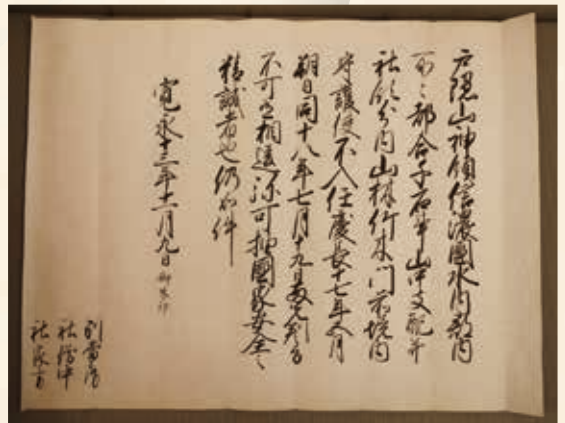
武田信玄願状 (戸隠神社蔵)



光如坊取次の図 (旧妙光院蔵)

S S S S

昨今の歴史・お城ブームの中、戦国武将は根強い人気ですが、戸隠も二人の戦国武将と深く関わりました。越後の上杉謙信と甲斐の武田信玄。童虎相搏つ両者の間で、ついに衰亡の危機に立たされたのです。その戦いの最前線に位置し、宗教上の拠点でもあったこの地は、激しい謀略にさらされます。信玄は戸隠の光如坊に戦勝祈願を取り次がせました。展示品「武田信玄願状」を読み解くと、そこに秘められた権力者の無言の圧力が伝わってきます。折から第四十五代別当となった賢栄は艱苦の中、いかなる決断を下し、その衰亡の淵から導いたのでしよう?! 幸いにも戸隠は戦乱の世を生き抜くことができました。後に快哉を浴びる決断の陰には、多面的な分析を可能にする質量豊富な情報があるといわれます。賢栄を支えた情報は誰が集め、もたらしたのでしよう?!



徳川家朱印状 (戸隠神社蔵)

江戸期に入り、徳川家康の朱印状により与えられた千石の神領は歴代の將軍により安堵され、戸隠は善光寺や諏訪大社と共に信州における安定した地位を築きました。世情が安定し、ヒトとモノの往来が盛んになると、更なる発展と向上を大義に、改革開放が求められるのは世の常です。今に云う、構造改革、規制緩和でしょうか。時代は下り、花の元祿。別当は第五十一代見雄。野放図に陥りがちな改革開放を、戸隠山中の掟を定め、自律の精神との両立を計りながら成し遂げた見雄の決断——その施策や事業とは?!

S S

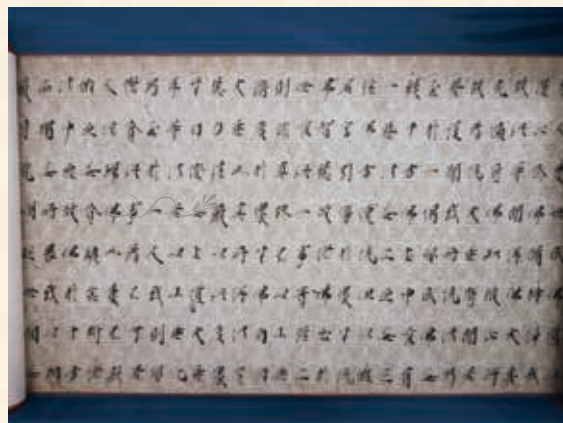
インフォメーション

奉祝 第62回 神宮式年遷宮

今年10月、20年ごとの式年遷宮が行われます。奉祝行事として、古より当社に伝わる太々神樂を奉納させていただくこととなりました。〈天の岩戸開き神話〉の世界が、伊勢神宮内宮で雅に繰り広げられます。日程は下記のとおりです。式年遷宮ご参拝の皆様、どうぞお立ち寄り下さい。

- 日時：平成25年10月24日(木) 9時~10時半
- 場所：伊勢神宮 内宮神苑 特設舞台

次号：10月1日発行予定



法華経残闕 (戸隠神社蔵)

リーダーの重要性は古今東西の史実によつて思い知らされます。数多の書物で扱われるリーダー論に興味は尽きません。その条件として必ず上げられるのが【決断力】です。本年は【リーダーの決断力】をテーマに、皆様を戸隠の歴史にご案内します。乱世の賢栄、平時の見雄。その外、法灯をつなぎ、戸隠を守り抜いた、堅忍の別当達の数々の業績を、貴重な史資料とともにご覧下さい!!